

国外実態調査報告書

テーマ : リモートワークの可能性について（ノマド天国タイにおける事例研究）
ゼミ名 : 武石 智香子 ゼミ
調査日 : 2023年8月27日（日）～8月30日（水）
調査先 : 【バンコク】
授業科目名 : 演習Ⅰ、演習Ⅲ
参加学生数 : 4名（3年生）、3名（4年生）

調査の趣旨（目的）

ノマド天国と言われているタイで、先進的なリモートワークの取組について調査する。

調査結果

ノマド天国と言われているタイで、8月28日には、Nap LabというRemote Work Spaceを見学し、実地調査を行った。

8月29日には、完全リモート契約採用を取り入れているOne Asia Lawyersで藤原正樹弁護士へのヒアリングを行った。

8月30日には、中央大学と長年の協定関係のあるタマサート大学の元商学部であるビジネススクールを訪問した。タマサート大学はタイで2番目に歴史の古い大学であり、しかもそのビジネススクール（TBS）は、AACSB、AMBA、EQUISの3つの認証をタイで最初に獲得した先進的なビジネススクールでタイプログラムと国際プログラムを有し、伝統と革新そして国際性を大切にしている大学である。当ゼミではこれまでの授業で「地方の課題解決」をテーマに日本のリモートワークに関してデータ分析を行ってきたので、その結果を英語でプレゼンした。TBS Associate Dean for International Relations, Arunee Tanvisuth教授およびDuangjai Lorthanavanich教授から有益で建設的なコメントを頂くことができ、学生との意見交換を行うことができた。また、タマサート大学で必修となっている学生が地方活性化に貢献するアクティブラーニングの先進的取組についてお話を聞き、大変参考になった。

さらに8月30日の午後には、先方に企画していただいたタマサート大学ビジネススクール国際プログラムの学生たちとの文化交流会があり、学生たちにとって楽しく貴重な国際体験となった。交流イベントの最後に、TBSの院生が経営しているカフェに立ち寄って、TBS大学院の実践的な学びを実感した。この企画により、協定関係にある大学で同じ商学分野を学ぶ大学生同士の異文化交流を満喫することができた。



・One Asi Lawyers タイ事務所 藤原正樹弁護士と



・TBS 教授にプレゼン、討論



・TBS Associate Dean for International Relations



・TBS 国際プログラムの学生と文化交流



・TBS 院生が学びを実践している Hayday Café にて